

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	祝日等歯科応急診療事業			
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係 課長名 志村明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実		総合計画書 (ページ)	47	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 5 休日診療費	事業 2 祝日歯科応急診療事業費
-----	---------	-----------	-----------	------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市民	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 85,698人(平成30年4月1日現在)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 祝日等における急病患者に対し、歯科診療を実施することにより、市民の健康を守る。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 利用者数
	③ そのために何をしましたか。 歯科医師会に事業を委託し、市内の歯科診療所において輪番方式で実施した。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 年間実施日数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698	
	成果指標	②の数値	人	103	108	121	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	歯の応急診療議必要となる市民の把握は出来ないため、目標設定は困難である				
活動指標	③の数値	回	21	21	21		

3 経費	事業費(実績)		円	2,127,039	2,127,039	2,127,039	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,157,039	1,157,039	1,157,039	
		特定財源	円	970,000	970,000	970,000	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900	2,473,200		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	4,607,139	4,602,939	4,600,239		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 祝日等における急病患者に対し歯科診療を実施し、市民の健康を守ることを目的に平成27年度から開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 患者数は増加している。

仕 事 の 内 容	祝日等歯科応急診療事業			
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係 課長名 志村明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	なし			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
なし				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	健康課主催のイベントや講演会でチラシを配布し、周知を図った。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	周知が市民に対してまだ不十分であること。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題				
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	引続き、他の事業実施時にチラシの配布するなど周知の強化に努める。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	他課との連携協力し、他課のイベントでチラシを配布する。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。